

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和4年度第8回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和5年2月17日(金)午前10時00分 ~ 午前10時55分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 興松 敬史 委員 石田 真由美 委員 宮崎 仁美 委員 芳賀 良 委員 長谷川 孝雄
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	吉野部長 佐藤次長 甲原課長 石嶋主幹 野本主任
議 題	(1) 令和4年度外部評価報告書(案)について (2) 次年度の外部評価について (3) その他
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】令和4年度外部評価報告書(案) 【巻末資料の資料1】答申書 【巻末資料の資料2】外部評価ヒアリング当日資料 【巻末資料の資料3】行政評価制度の改善等に関すること 【巻末資料の参考資料1】戸田市外部評価委員会委員名簿 【巻末資料の参考資料2】令和4年度戸田市外部評価委員会会議録 【資料2】令和5年度戸田市外部評価委員会日程(案)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開 会 2 議 事 (1) 令和 4 年度外部評価報告書 (案) について 資料 1 に基づき、説明を行った。
委員	令和 4 年度外部評価報告書の「 4 答申 (意見) を踏まえた行動計画」の中で、行動計画として外部評価委員会の意見等が反映された箇所がどこであるかを確認するためには、(1) 委員会の評価・意見を踏まえた令和 5 年度の事業と(2) 委員会の意見に対する検討状況を併せて読むということか。 例えば、(1) において、外部評価委員会の意見等により、実施した部分にアンダーラインを引くということは可能か。
事務局	委員の御指摘のとおり、本来であれば該当部分を明確にすることが望ましいと考える。一方で、委員会における意見等の趣旨を反映させたという事業が多々あることから、委員会の意見を踏まえた令和 5 年度の事業としており、表現については、苦慮している部分もある。
委員	各部署において、様々な検討を行い、このような行動計画を作成いただいたことに感謝申し上げます。 一つの形としては、まとまっているが、この内容を直接、報告していただく場として、報告会があっても良いのではないかと考えたところである。 外部評価委員会の委員として気掛かりな点は、行動計画を作ることで、終わってしまうことである。この取組を更に良くしていくためには、その後の状況等を報告する仕組みや場を設けるなど、進捗を把握できるようにすることで、成果がより明確になるのではないかと考える。 個人的には、行動計画は、良い形でまとまったと感じている。
事務局	行動計画を作ることで終わってしまうという委員の懸念については、始めに行動計画の在り方としては、昨年度、外部評価制度を見直した趣旨の

	<p>1つとして、外部評価委員会の評価や意見をどのように事業に反映できるかについて市が検討した結果を同年度内に委員の皆様を示すという点があり、今年度の方式については、今後、改善すべき点は多々あるかと思うが、趣旨を踏まえた1つの結果として、このような行動計画に至ったところである。その点については、委員からお言葉をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>また、お話の報告会形式による報告について、行動計画は、次年度の予定を記載しているものであり、行政として現時点で断言できない事項もある。今後、行動計画の進捗を追っていく上で、担当所属による報告会形式や事務局からの報告形式などを検討する必要があると考えている。</p>
委員	<p>外部評価を実施した施策について、「1回やれば、いいや」で終わらないようにしていただきたい。委員会と各部署のそれぞれが、時間をかけて、検討を行い、出した答えである。その進捗や結果を明確にすることで、市民にとっても分かりやすく、外部評価制度の理解につながるのではないかと。</p>
委員長	<p>委員から非常に重要な観点での意見があった。来年度の制度設計にどのような形で落とし込んでいくのかについては、検討が必要である。報告会形式の場合は、どのようなタイミングで行うのか。行動計画の策定前にするのか後にするのか。また、1年で6施策を取り上げて外部評価することから、すべての施策を本委員会で評価するのに5年間必要であり、今年度外部評価の対象となった施策については、向こう4年間では外部評価の対象とならない可能性が高い。そのことから今年度外部評価を行った施策がその後どのようなようになっていったかというフォローが、5年、6年後になってしまってもいい。行動計画が言いつばなしにならないための仕組みができるのか。</p> <p>なお、第4次総合振興計画時の外部評価委員会においては、評価を行った施策を数年後に対象にして担当所属から、直接、その後の成果等を聞くことがあったが、今回の外部評価の制度設計ではできない可能性があるため、今後の課題として検討していきたいと考える。</p>
委員	<p>様々な要素を踏まえ、立案や予算編成を行うに当たり、外部評価委員会からの意見は一つの大事な意見として使ってもらおうことを考えている。その上で、社会情勢や本委員会からの意見を踏まえて行動計画も作成されたという</p>

事務局	<p>ことだが、(1)委員会の評価・意見を踏まえた令和5年度の事業において、新しい組織を作ることや役割を右から左に移すこと、また、予算編成において、新たな枠組みを設定して、前年度にはなかった予算を設定する予定であるなどが、6施策の中であれば、本委員会の中で共有できればと考えている。</p> <p>おっしゃるとおり、議会に上程前であり確定的な話はないが、さきほどの事務局の説明でもあったように、施策5においては、視覚障害者向けオンライン情報「サピエ」の加入など、手段としては小さな取組かもしれないが、市民の誰もが生涯学習を行うことができる環境の構築ということで、本委員会からいただいた包括的な意見を踏まえた取組となっている。</p> <p>これが、0(ゼロ)から1のように出てきた取組かということ、そうではないが、予算要求時には、本委員会からの意見も踏まえて、この取組を実施していきたいといったような後押しになったものと考えている。</p> <p>また、いくつかの施策では、庁内検討委員会の設置について言及しているが、各部局も以前から部局間連携を課題として認識をしつつ、なかなか先に進められない状況であった。本年度、委員会からいただいた意見は、部局間連携の手法として、会議体の設置に踏み切れた要因の一つと考えている。</p>
委員	<p>さきほどの委員の発言にもつながるが、どこにアンダーラインを引けるのかということになる。もちろん、いろいろな状況を踏まえ、検討した取組であることは承知の上で、今までなかったものが、新たに加わったという表現にしていただくと読み手としては、理解しやすいと感じた。また、委員長の発言にもあったように、数年後に、この報告書を読み直す際にも、分かりやすくなると感じた。</p>
事務局	<p>おそらく、アンダーラインを引く場合は、広範囲に及び可能性が高いと考える。0(ゼロ)から1のような取組というよりは、令和5年度の予算編成や事業検討の際には、当委員会の意見の趣旨等を踏まえながら検討を進めたところであり、どのような形で、表示できるかについては、検討させていただく。</p>
委員	<p>行政には、多くの諮問機関があり、学識経験者から意見をいただくことも</p>

<p>委員長</p>	<p>多いが、最終的には事業を行う行政が判断するものと認識している。その時には、納得できる外部からの意見ならば予算獲得や他部署との折衝、部署内の検討などに積極的に活用してもらいたい。学識経験者や公募市民などで委員会が構成されている意味はそのように考えている。ただ、成果や進捗については、報告を受け、今後の方向性や進め方を確認したり、より良い結果を目指し、意見を交換していけるような形が望ましい。</p> <p>戸田市では、長く外部評価を行っており、本委員会の存在については、毎年度、広報などで周知されている。また、委員構成は、学識経験者や市内事業者、公募市民となっていることから、広く市民に周知していくことが大変重要となる。この報告書が完成したら市のホームページに掲載されるが、どのくらいの市民がホームページから報告書を見て、内容を理解してもらえるかについては、なかなか難しいと考える。</p> <p>今後、多くの市民に外部評価委員として参画してもらおうのであれば、本委員会の存在だけでなく、広報紙などに「本委員会が終わった後、このように事業が変わっていきます」といったようなことが示すことができれば、存在意義が高まる。もちろん、本委員会の意見だけで、行動計画を作るのではなく、様々な要素を踏まえていくということは承知の上で、今後の進め方も検討していただきたい。</p> <p>ちなみに、0（ゼロ）から1のような取組はあったのか。これまでも、行政の内部でアイデアとして持っており、表に出せずにいたところ、本委員会からも似たような意見がでたことで、後押しされるような形で事業が進んでいったことはあったであろう。また、あまりない例かもしれないが、これまで気づけなかった視点が、本委員会の意見として出たことで、内部で検討した結果、新たな取組として始めるなど、様々な形がある。ただ、実際のところは、0（ゼロ）から1のような取組は少なく、行動計画のほとんどは、様々な要素を踏まえて判断した上で、作られたということであろうと推測している。</p>
<p>事務局</p>	<p>おそらく、各部局においても取組の素案のようなものはある中で、本委員会からの意見を踏まえて形にした取組もあろうかと思うが、その件数については集計できていないため、どの程度、各取組に寄与していたかについて、</p>

	把握できていない状況である。
委員	<p>報告書の概要ページには PDCA の check は外部評価であると記載しているが、外部評価の中でも小さな PDCA があると考えており、本委員会の意見へのフォローアップを実施してもらうためにも、そのやり方や時期を検討していただきたい。次年度の選定の話になるかもしれないが、今年度の6施策以外を選ぶ必要があるということであれば、この6施策のフォローアップが置き去りにならないようにしてもらいたい。</p> <p>また、行動計画表についても、複数の意見に同じ文面が羅列されている。実際にそうなのかもしれないが、個別の意見に対して、個別に回答されていないと、本当にやる気があるのかどうか伝わってこないと感じてしまうので、そのような点についても注視していきたい。</p>
事務局	外部評価を行った施策に対する PDCA の手法などを、検討したい。
委員長	報告書の1ページのPDCAサイクルの表は、委員の指摘のとおり、内部評価と外部評価の両方にサイクルがあり、それが車の両輪のように回っていくことで政策が上手く回り、ひいては住民福祉の増進につながるというような絵が描けると良い。
委員長	その他に意見や質問等はあるか。
委員一同	なし
事務局	<p>(2) 次年度の外部評価について</p> <p>資料2に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>次年度のやり方をどうするかという点を令和5年度第1回で行うものとするが、巻末資料の資料3に記載している内容は、当時、一委員として気付いた点であり、委員会でとりまとめたものではない。</p> <p>ちなみに、外部評価の運営側として、鋭い意見で対応が難しいなどが、現時点であれば共有していただきたい。</p>

事務局	考えてもみなかった意見というものは、ないと感じているが、各意見をどのように反映していくかという点に苦慮している。
委員	事務局として、この意見の中において、対応が不可能であると判断しているものは、ないといことでよいか。
事務局	おっしゃるとおり、対応が不可能であると考えているものはないが、どのように既存の仕組みに組み込んでいくかという検討が必要である。
委員	改善等に関することのそれぞれの内容については、具体的にどのように進めていくのか。行動スケジュールなどを教えてほしい。それに基づき、当委員会としても検討すべき事項があれば検討していくことになる。
事務局	改善に時間を要するものやある程度手法で改善ができる見込みのあるものもあると考える。事務局において、整理をした上で、報告の方法などについても検討させていただく。
委員	短期、中期、長期というような区切りでも良いので、示してもらえると、非常に検討しやすい。
委員	当初の意見出しの時期は、外部評価の途中の段階であったため、意見が出しにくかったので、この改善等に関する意見出しの時期についても検討していただきたい。
事務局	行政評価制度の改善等に関することについては、この後、説明させていただくが、今までも年度途中の9月頃に意見をいただいていた。今年度は、当委員会を年間通じて参加していただく中で、気付いた点などを記載いただくことで、事務局としても今後の検討に資するものとなるため、御協力いただきたい。
委員長	大変重要な点であり、新しい外部評価制度の初年度であり、その礎を築く

	<p>重要な制度設計である。個々の制度や外部評価全般について意見をいただき、行政評価制度の改善に関することは本委員会の所掌事務の一つであるので、次の外部評価の PDCA を回していくためにも、今年度の外部評価制度で見えてきた課題をどのように改善し、次の外部評価委員会につなげていけるか検討をしていきたい。令和 5 年度第 1 回でその点について、報告があるかと思うが、様々な観点の意見があると思うので、令和 5 年度の外部評価委員会ではただちに改善すべき点、恒常的に改善すべきものなど、事務局にはそのあたりの交通整理をしていただきたい。</p>
委員長	<p>その他意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>(3) その他 「行政評価制度の改善等に関すること」として、全 8 回の外部評価委員会を通じて、本市の行政評価制度の改善点や委員の皆様が感じたことを前回の意見に加えて、外部評価報告書に記載する予定である。また、無記名で掲載する予定だが、最終的な確認については、委員長に一任いたしたい。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
	<p>3 閉 会</p>